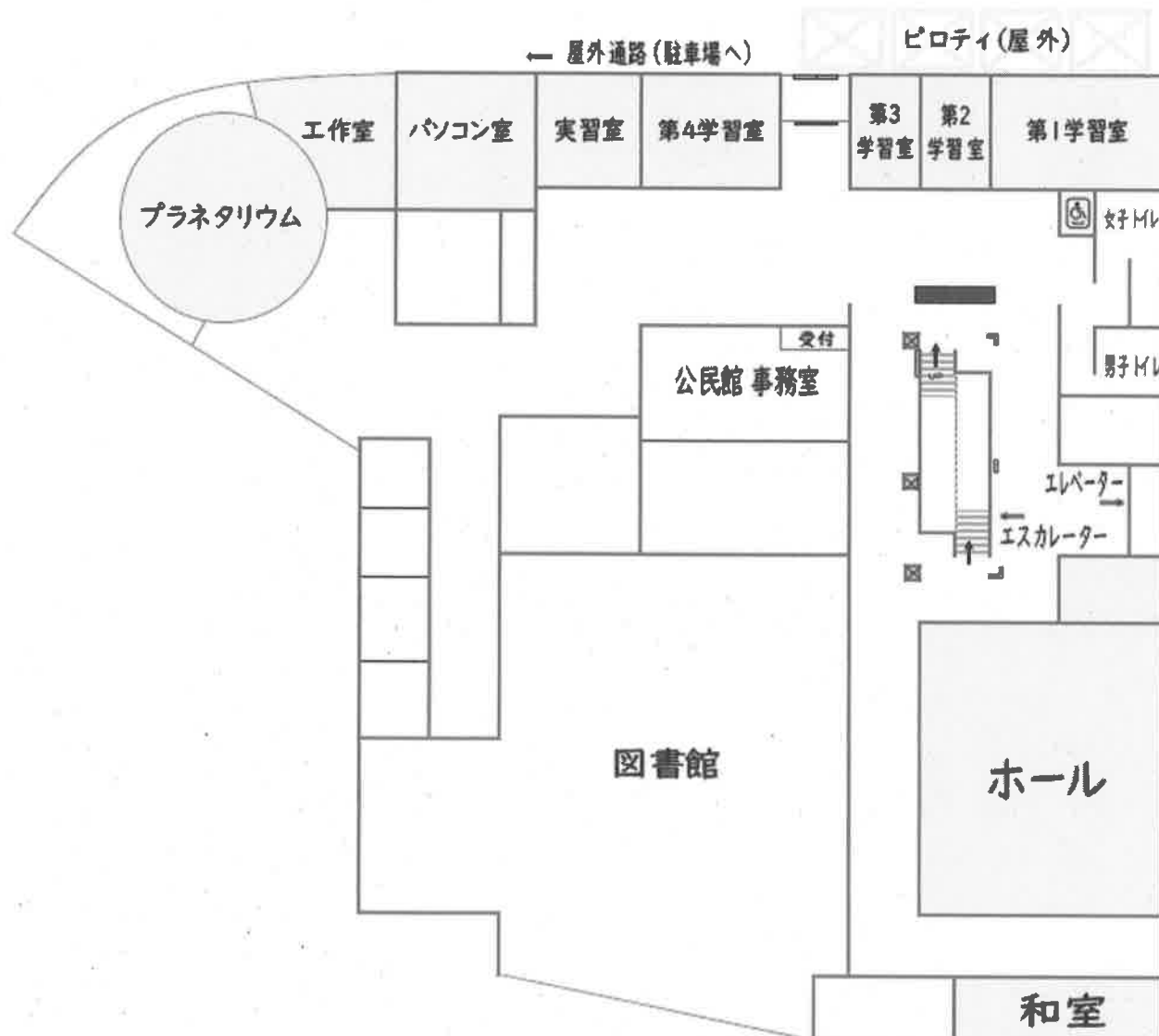


牧志駅前ほしぞら公民館



利用施設のご案内

牧志駅前ほしぞら公民館 平面図 (さいおんスクエア3階)



部 屋 名	収容人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	120人程度	研修会、講演会、発表会、音楽会等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
第1学習室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第2学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第3学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第4学習室	30人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
実 習 室	20人程度	料理実習、会議等 (IH調理台(4台)、料理用器具等)
パソコン室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
工 作 室	15人程度	工作実習、会議等 (イス、テーブル)
和 室	15人程度	お茶、生け花、着付けの学習会等 (テーブル)
プラネタリウム	84人	プラネタリウム投影 (デジタル式、光学式)

I 牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

久茂地公民館の沿革（牧志駅前ほしぞら公民館の前身）

久茂地公民館の建物は元々、昭和41年、「沖縄子どもを守る会」が青少年健全育成の場として建設した「沖縄少年会館」であり、当時は、その規模・施設等、最も進んだ教育施設として、沖縄の青少年健全育成に果たした役割は多大なものがあつた。しかし、その後、館の運営を維持することが財政的に困難となったため、昭和54年4月1日付けで那覇市に譲渡され、久茂地公民館として生まれ変わった。

昭和54年 4月 4日	公民館の施設提供が開始された。
5月8日	プラネタリウム事業が開始された。
昭和60年 4月23日	久茂地公民館利用団体連絡協議会発足（70団体）
平成 2年 4月19日	久茂地公民館10周年記念誌が発刊された。
12月 7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰される。
平成 9年10月30日	第50回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成23年 4月30日	施設の老朽化のため休館した。なお、休館に際し、4月29日・30日にプラネタリウムの最終投影会を開催した。
平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止された。

牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

牧志駅前ほしぞら公民館は、平成23年7月8日、久茂地公民館の機能を移転する形で開館した。同館は牧志・安里地区市街地再開発地域（愛称「さいおんスクエア」）における12階建て複合施設の3階に、プラネタリウムのある公民館として、牧志駅前ほしぞら図書館とともに設置された（1・2階は商業・宿泊施設、4～12階は宿泊施設）。この複合施設の建築工事は、平成21年11月9日に着工し、平成23年3月18日に竣工した。

平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止され、同館の機能を移転する形で、牧志駅前ほしぞら公民館が開館し、館長 田端研二が発令された。なお、同日から7月10日までの3日間、さいおんスクエアのまちびらきまつり開催に合わせて、公民館のオープニングイベントを開催し、多くの市民で賑わった。
平成23年11月28日	牧志駅前ほしぞら公民館利用団体連絡協議会の設立総会が開催された。
平成24年 3月	旧沖縄少年会館 旧那覇市久茂地公民館 旧那覇市立久茂地図書館記念誌が発刊された。
平成27年 3月 4日	第67回文部科学大臣優良公民館の表彰を受ける。
平成27年 9月 5日	牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム観覧者数10万人達成する。
平成28年 4月 1日	館長 田端研二配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。
平成30年 4月 1日	館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。
令和 2年 4月 1日	館長 田端研二退職に伴い、館長 末吉雪乃が発令された。
令和 4年 1月27日	牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム観覧者数20万人達成する。
令和 5年 4月 1日	館長 末吉雪乃配置替えにより、館長 富村奈央が発令された。

Ⅱ 令和4年度牧志駅前ほしぞら公民館事業目次

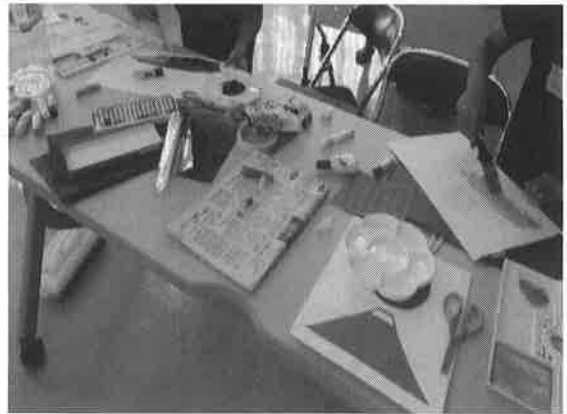
1	学習風景（写真）	163
2	成人一般対象事業	
	〔1〕市民講座	
	◇歴史散歩 壺屋編	164
	◇こころの風景 あの日の沖縄	165
	〔2〕成人講座	
	◇星のソムリエ 星空案内人になろう	166
3	高齢者対象事業	
	〔1〕高齢者学級	
	◇人生を楽しく生きるために	167
4	青少年対象事業	
	〔1〕少年教室	
	◇絵画（お絵かき）教室	168
	◇エコクラフトバンド（紙テープ）deかごづくり	169
	〔2〕青年講座	
	◇男の厨房～ワインに合う料理編～	170
	〔3〕親子ふれあい教室	
	◇親子星空教室	171
	◇親子夏休み工作	172
5	家庭教育事業	
	〔1〕家庭教育学級	
	◇宇宙の学校	173
	◇自己肯定感をほぐくむ	174
	◇ガラスのハート～繊細な人HSP～	175
	◇「ひきこもりについて知っておきたいこと R4」	176
	〔2〕乳幼児学級	
	◇にゅうじランド	177
6	その他の事業	
	〔1〕プラネタリウム事業	178
	〔2〕プラネタリウムにおける新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み	179
	◇プラネタリウムたなばた投影	180
	◇星と音楽のコラボ 復帰50周年記念投影「あの日の星空 あの日の歌声」	181
	◇星と音楽のコラボ「星もきらめく四重奏」	182
	◇星空観望会	183
	◇全国一斉 熟睡プラネタリウム	184
	◇金星食Live配信～細い月とかくれる金星～	185
7	公民館まつり	186
	◇ほしぞら公民館まつり特別企画「星のキラキラおはなし会」	188

1 学習風景



市民講座

「歴史散歩 壺屋編」



少年教室

「絵画（お絵かき）教室」



青年講座

「男の厨房～ワインに合う料理編～」



家庭教育学級

「宇宙の学校」



乳幼児学級

「にゅうじランド」



プラネタリウム事業

「星と音楽のコラボ～復帰50周年記念投影～『あの日の星空 あの日の歌声』」

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

歴史散歩 壺屋編

趣 旨：壺屋周辺の歴史や背景、文化等を実際に歩いて観て廻り健康増進且つ楽しく学習する

期 日：令和4年12月10日（土）

時 間：10:00～12:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館（第1学習室）、壺屋周辺

対 象：那覇市在住、在勤、在学で18歳以上の人

受 講 料：無料（ただし、保険料100円徴収あり）

定 員：16人

申込人数：24人（うち受講決定人数16人）

参加延べ人数：16人

講 師：上江洲 仁勇、眞喜志 修（NPO 法人那覇市街角ガイド）

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	参加人数
12月10日（土） 10:00～12:00	ほしぞら公民館スタート→バンジョーカー→ 涌田窯→南ヌ窯→ウフカー→ビジュアルカー→ 東ヌカー→ミーガーヌカー→下ヌカーなどを廻り解説 してもらいました。	16人

【参加者の声】

- ・何事にも熟知された街角ガイドさんのお陰でいつも通り抜けている壺屋通りがこんなにも歴史の深い場所であることが良く分かりました。
- ・実家の近くでしたが知らない所が多く驚きでした。また機会があれば参加したいと思います。
- ・那覇市の歴史を学びつつ散歩時間と距離も良かったと思います。
- ・事前に予習しておけば良かったです。耳が少し聞こえづらいのでイヤホンガイドがあつて助かりました。壺屋の奥深さも知れ商店街の話も興味深かったです。

【まとめ】

壺屋周辺の窯やカー（井戸）を廻り歴史や背景、文化を学ぶ講座でした。壺屋は細い路地（スージ道）が多くまた観光客も多いので通行の邪魔にならないように職員で声を掛けながら廻りました。



大綱引きモニュメント



バンジョーカー



東ヌカー



南ヌ窯



ビジュアルカー



涌田窯

こころの風景 あの日の沖縄

趣 旨：個人で持つ懐かしい写真や8mmフィルム。世代交代で受け継がれずに処分されることが多々ある。それが那覇の貴重な史的資料となるのではないかと推測される。那覇そして沖縄の郷土愛を育むと共に、写真の持つ記録性・社会性を考える（市民が持ち寄る古い写真や8mmフィルムを有効に歴史的アーカイブとして残す意義）。

期 間：10月16日（日）～11月13日（日） 全3回

時 間：14:00～15:30（第2回のみ14:00～16:00）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール、第1学習室、プラネタリウム

対 象：那覇市在住・在勤の人 受講料：無料

定 員：15人 申込人数：19人（うち受講決定人数18人）

参加延べ人数：35人

講 師：真喜屋 力、仲間 公彦、深谷 慎平（沖縄デジタルアーカイブ協議会）

福里 美奈子、玉城 奈々（牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム操作技師）

外間 政明（那覇市文化財課）

★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	講 師	参加人数
1	10月16日（日）	昔、那覇で撮影された8mmフィルムの鑑賞・解説	真喜屋 力 仲間 公彦	11人
2	10月30日（日）	貴重な古い写真とプラネタリウムで懐古タイム	深谷 慎平 福里 美奈子 玉城 奈々	11人
3	11月13日（日）	未公開写真の解説とそれらの歴史について	外間 政明	13人

【参加者の声】

- ・沖縄の歴史と絡めて、写真を検証する視点で解説していただき大変勉強になった。学んだ視点で昔の写真を見たいと思ったし、現在、今の那覇の街を「今」の貴重な那覇の姿として記憶（記録）したいと考えました。また、写真の「社会性」があるかないかなどのお話がこれまで一連の写真を見て「なるほど」と思い興味深かったです。
- ・今回初めての参加です。白黒写真をカラー化して、その時代の色々な情報が分かる。とても素敵です。ありがとうございました。
- ・普段見ることが出来ない映像が見れて、貴重な体験ができた。デジタル化し、公開していただきありがとうございます。街に出て、今日見た映像の場所に行ってみたくなりました。受容が大切だと改めて思いました。会場（対面）での講座で良かった。
- ・県外出身者です。沖縄の昔の映像をこんなに沢山見たことは初めてです。話を聞く機会も無いので、住まいの近くのお祭りの様子など興味深かったです。（あんなに盛り上がっていたのですね）映像をプロの視点から解説していただいて面白かったです。
- ・写真を中心とした講座で、那覇の時代の移り変わりがわかって良かった。社会性があり、いつでも共感できる写真の重要性が良く分かった。今後ともチャンスがあれば、また企画して欲しいと思う。

【まとめ】10月～11月は他のイベントも多く、申し込んだ人も流れてしまったように感じた。また、小さな子ども連れの参加者がいたが、子どもが退屈してしまい、2回目以降の参加を遠慮されてしまった。他の講座にも通じることだと思うが、保育とまではいかなくても、小さな子が遊べるスペースを設けることで参加が増えるのではないかと考える。



〔2〕 成人講座

星のソムリエ 星空案内人になろう

趣 旨：星空と宇宙の基礎知識、望遠鏡の原理や使い方、
星空案内を行う際の楽しみ方や注意点を学び、
実際に地域などで活躍する星空案内人としての人材を育てる。

期 間：令和4年9月3日（土）～12月10日（土）（全8回）

時 間：18:00～20:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館

対 象：星や宇宙が好きな16歳以上の人

受 講 料：無料

定 員：15人

申込人数：46人（うち受講決定人数15人）

参加延べ人数：114人

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	科目	講 師	参加人数
1	9/ 3（土）	さあ、はじめよう	必須	垣花正男（元プラネタリウム操作技師）	15人
2	9/17（土）	星座をみつけよう	選択	田端研二（元ほしぞら公民館長）	15人
3	10/ 1（土）	星の文化に親しむ	選択	田端研二（元ほしぞら公民館長）	15人
4	10/15（土）	宇宙はどんな世界	選択	福里美奈子（プラネタリウム操作技師）	13人
5	11/ 5（土）	望遠鏡のしくみ	必須	米原英樹（宇宙少年団名護分団長）	15人
6	11/19（土）	望遠鏡を使ってみよう	選択	米原英樹（宇宙少年団名護分団長）	13人
7	12/ 3（土）	星空案内人の実際	必須	田端研二（元ほしぞら公民館長）	15人
8	12/10（土）	認定式・閉校式	—	田端研二（元ほしぞら公民館長）	13人

【参加者の声】

- ・星を見るのは好きでしたが、知識が全くなかったので、今回この講座に参加して星空についてのあれこれを知ることができ楽しかったです。これからも細く長く知識を増やしていきたいです。
- ・土星も天体望遠鏡で見ることができて感動しました。まるで写真を見ている様でした。プラネタリウムでの宇宙も見ることができて、とてもきれいですごく楽しかったです。
- ・久しぶりに勉強しました。楽しかったです。
- ・四季の大三角や秋の四角など、探するのが楽しみになりました。

【まとめ】

星や宇宙に関して幅広く学ぶ本講座は、全8回の連続講座であるため、例年途中でリタイヤする方もいる中、今回は受講者15人全員が最後まで参加し、14人が星空準案内人として認定を行うことができた。認定式の際には、星空案内人のみなさんが情報共有しているSNSへの案内や、講師でもある田端さんの定期的な勉強会への参加も呼び掛けているため、そこから星空案内人へのステップアップへとつなげて貰いたい。



3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

人生を楽しく生きるために

趣 旨：高齢者を対象に、高齢期の生活課題を反映させるとともに生き甲斐づくり、仲間づくり、積極的な社会参加を促す。

期 間：令和4年10月7日（金）～11月4日（金）（全4回）

時 間：10:00～12:00 場 所：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館

対 象：那覇市在住、在勤の概ね60歳以上で健康な人

受 講 料：無料（但し、保険料として100円自己負担あり）

定 員：10人 申込人数：15人（うち受講決定人数13人）

参加延べ人数：52人

講 師：①赤嶺 正哉、福田 芙見子（大浜第一病院 理学療法士）

②上原 立津子、与那覇 美智枝（那覇市社会教育指導員 OB会員）

③赤瓦 ちょーびん（歴史観光ガイド） ④池村 真弓（歌声講師）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	講 師	参加人数
1	10月7日（金）	筋力アップ↑ウォーキングの基礎を学ぶ ① 一生自分の足で歩くためのトレーニング方法を学ぶ ② レッツゴー歩いてみよう	赤嶺正哉 福田芙見子	13人
2	10月14日（金）	栄養バランスの取れた簡単手抜き料理を学ぶ。 ① 手軽に作り置き味噌玉の作り方 ② みそ玉を使ってアレンジ料理を作る	上原立津子 与那覇美智枝	13人
3	10月21日（金）	琉歌にふれる！入門編 ① 琉歌の基本的な知識や読む際のポイント等を学ぶ	赤瓦ちょーびん	13人
4	11月4日（金）	生き甲斐づくり（発声の基礎を学び楽しく歌う） ① ウォーミングアップ、発声練習 ② 懐かしの歌（童謡、歌謡曲）	池村真弓	13人

【参加者の声】

- ・明るく楽しく丁寧に進めていただき楽しかったです。ウォーキングの講座を多く実施して頂きたいです。
- ・「島人の宝」のとおり身近にありながら理解できていない琉歌です。これを機に歌碑巡りに参加します。
- ・みそ玉は以前から興味がありました。実際にコツを教えて頂いて是非実践します。対面での実習、理解度が増します。
- ・ゆったりとした時間が流れリラックス出来ました。いろんなものに取り組んでみたいと思いました。

【まとめ】

今回の高齢者学級ウォーキング、料理、歴史、歌（身体、栄養、脳の活性化、喉や肺活量）高齢者にとっては必要な内容だったと思います。タイトルとおり「人生を楽しく生きるために」のヒントになれたと思います。

4 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

絵画（お絵かき）教室

趣 旨：絵が苦手な子も、「絵って楽しい」と感じてもらう。その体験を通して、視野の広がり、自己肯定感を高める一助とする。

期 日：令和4年7月30日（土）・8月6日（土）

時 間：13:00～16:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 第1学習室

対 象：那覇市在住・在学の小学2年～6年生

受講料：無料（但し、材料費100円は自己負担）

定 員：各10組（きょうだいは1組と数える）

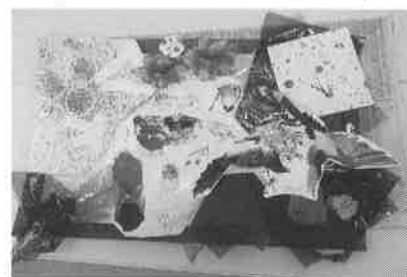
申込人数：第1回 43組（うち受講決定人数10組）

第2回 30組（うち受講決定人数10組）

参加延べ人数：35人（17組）

講師：江谷 紋子 元中学校美術教師・公認心理士

助手：又吉 一仁 絵画教室主催



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	7月30日 (土)	1. 絵の技法を実践で学ぶ 2. 1で描いた作品や色々な素材を組み合わせ、コラージュを作成 3. 作品のテーマや感想を発表	8組（16人）
2	8月6日 (土)	同上	9組（19人）

【参加者の声】

- ・ラメを入れたり、ペッタンコしたり、とても楽しかった。
- ・やったことない絵のテクニックが知れてよかった。
- ・絵が苦手でしたけど、とても絵を描くのがうまくなったと思いました。
- ・絵の描き方は、無限なんだなと思いました。
- ・これからも自分なりの絵を楽しんでいきたいと思いました。

【まとめ】

子どもが絵に対して苦手意識が強いなど、保護者からの相談に対し、心理に強い講師が相談にのる場面があった。また、「絵を描く事が苦手だったけど好きになりました。」などの感想もあり、子ども達の可能性を広げ、自信につながるような講座になったと思う。



エコクラフトバンド（紙テープ）deかごづくり

趣 旨：小学高学年を対象に夏休み期間、親子でものを作る喜びを体験するとともに親子の絆、信頼を深める機会とする。

期 日：令和4年8月21日（日）

時 間：14:00～16:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館（第1学習室）

対 象：那覇市在住、在学の小学4年～6年生と保護者

受 講 料：無料（ただし、保険料、材料費500円自己負担あり）

定 員：15組（きょうだいは1組と数える）

申込人数：34人（うち受講決定人数 30人）

参加延べ人数：24人（11組）

講 師：長田由美子（クラフトバンドインストラクター）

助 手：栄野元廣美、友寄正子、棚原節子、牧志美代子（Nの会）

★★ 学習プログラム ★★

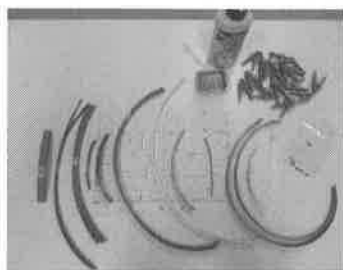
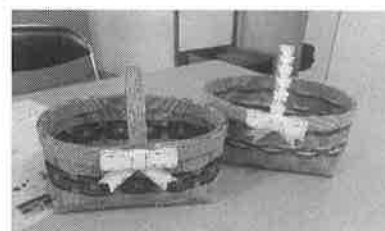
日 程	内 容	参加人数
8月21日（日） 14:00～16:00	※紙テープを指で引っ張るようにしごき、紙テープのくせを直しまっすぐにして使う ① 底を作る ② 側面を作る ③ 持ち手部分を付け、レースとリボンを付け仕上げる	24人（11組）

【参加者の声】

- ・親子で色違いのかごが作れてとても良かったです。
- ・初めての挑戦でしたが、とても楽しく作れました。
- ・コロナ感染拡大で中止になるかと心配しましたが、出来て良かったです。

【まとめ】

講師からの要望で保護者も一緒に作ることになり、大人でも難しい工程でしたが、切磋琢磨しながら親子で取り組むその様子が微笑ましかったです。また再度作りたいと追加で材料を購入する受講生も何組かいました。ユーチューブでも講座内容が視聴できるようにしました。



〔2〕 青年講座

男の厨房 ～ワインに合う料理編～

趣 旨：男子厨房に入るべからずは過去の話。今は男性も台所で腕をふるう時代！
 美味しい食事を作ることができる喜びを知り、パートナーや家族もその姿を喜ばしく思うのではないだろうか。また、性別を問わずに家事を行う事をあらためて考える機会としたい。地域の人を講師とすることで親近感も高めていく。

期 日：令和5年3月4日（土）

時 間：11：00～13：30

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 実習室

対 象：那覇市在住・在勤の20代～40代の男性

受 講 料：無料（但し、材料費・保険料は1,500円は自己負担）

定 員：9人 申込人数：20人（うち受講決定人数12人）

参加延べ人数：12人

講 師：野口 泉（ライオンミドリ オーナー）

★★ 学習プログラム ★★



日 程	内 容	参加人数
3月4日（土） 11：00～13：30	・材料の説明 ・作業の進め方 ・自己紹介や役割分担（コミュニケーション） ・ワインの紹介、ワインの選ぶ際のコツ ・受講者が普段から行っている家事などについて	12人

【参加者の声】

- ・休日のため、利用しやすい。住まいから遠いので毎回は無理だが、また利用したい。
- ・思っていた以上に充実した内容でとても満足しました。
- ・普段の生活に活用できそうな内容で満足しています。
- ・楽しく美味しく参加することができました。
- ・大変わかりやすかった。ワインの説明も面白く家で買って飲んでみたくなった
- ・教えてくれてとても良かったです。職員の方も段取り良く進行してくれてスムーズに終わることができましたと思います。
- ・少しずつ内容をレベルアップしていった料理講座にして欲しいです。
- ・多少金額が高くなっても良いので、今回のような機会があれば参加したいです。日々の生活が充実するような講座があれば参加したいです。
- ・皆さん親切丁寧な対応してくれて、とても良かったです。今後も同様な講座があれば参加してみたいと思います。

【まとめ】

講師も初めての経験だったので、1回限りの年度末になってしまった。もっと早くに動いていれば、受講者のアンケートで希望している連続講座もできたかもしれない。次年度以降も、続けていければと思う。若い男性ばかりだが、それぞれがコミュニケーションを取り、指示しなくても役割分担で作業が進んでいた。質疑応答の際にも次々と質問が上がり、学ぼうとする姿勢が素晴らしかった。公民館利用者には若い男性が少ない傾向にあるが、今回の講座で呼び込むことが可能であると感じられた。



〔3〕 親子ふれあい教室

親子星空教室

趣 旨：天体学習を通じて、豊かな情操と科学心を育てると共に親子のコミュニケーションを深める。
親子で宇宙や星座の学習をすることにより、子ども達の理科への感心を高める。

期 間：令和4年10月1日（土）～令和5年2月4日（土）（全5回）

時 間：下記参照

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム
第一学習室、実習室

対 象：那覇市在学の小学校4年生～6年生の親子

受 講 料：無料（但し、写真代・材料費350円は自己負担）

定 員：20人（10組）

申込人数：20人（10組）（うち受講決定人数20人10組）

参加延べ人数：76人（38組）

講 師：田端 研二（元ほしぞら公民館長）

福里 美奈子、玉城 奈々（当館プラネタリウム操作技師）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	時 間	内 容	参加人数
1	10月 1日(土)	16:00～18:30	開講式、宇宙について 秋と冬の星座	16人（8組）
2	11月25日(土)	18:00～20:00	望遠鏡の仕組みと使い方	18人（9組）
3	12月17日(土)	16:30～18:30	星座について学ぼう！	12人（6組）
4	1月14日(土)	16:30～18:30	星座早見盤を作ろう	16人（8組）
5	2月 4日(土)	16:30～18:30	閉講式、春と冬の星座 2022年お勧め天文現象	14人（7組）

【参加者の声】

保護者・親子星空教室では、毎回星について学ぶ事が多く、子どもと楽しんでいる様子が見れて良かったです。家でも星の話をしたり星を見に行き、習った星座を探して楽しんでいます。

児 童・名護に泊まりに行った時、冬の大三角を星座早見盤を使って探しました。望遠鏡を使った講座が楽しかったのも、望遠鏡が欲しいです。

【まとめ】

今年度も感染対策の為、保護者は1人参加、定員を10組とした。少人数の分、それぞれの親子の様子を見ながら講座を進める事ができた。アンケートでは、親子で楽しみながら星を学び、家庭でも話す機会が増えたので嬉しいという感想が一番多かった。



親子夏休み工作

趣 旨：夏休みに星を見ながら星座早見盤を使ってもらう為に、自分で作成し使い方を学ぶ。
親子で一緒に学ぶ事で、親子のコミュニケーションを深める。

期 日：令和4年7月24日（日）

時 間：15:00～17:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム、パソコン室

対 象：那覇市在学の小学校4年生～6年生の親子

受 講 料：無料（但し、写真代・材料費350円は自己負担）

定 員：20人（10組）

申 込 人 数：24人（12組）（うち受講決定人数10組20人）

参加延べ人数：19人（10組）

講 師：玉城 奈々（当館プラネタリウム操作技師）

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	参加人数
7月24日(日)	星座早見盤の作成、星座早見盤の仕組みの説明 プラネタリウムで使い方を学ぶ、夏の星座の探し方	19人（10組）

【参加者の声】

- 保護者・教科書の内容をプラネタリウムで実際に見る事ができ、子どもの理解が深まりました。夏休みにぴったりの講座だと思います。
- ・子供が星座に興味を持つキッカケになるかなと思い良かったです。また機会があれば参加したいです。
- 児 童・早見盤を作れてプラネタリウムも見れて、とても楽しかったです。また行きたい！
- ・工作も楽しかったし、星空の位置も場所によって違う事が分かった。

【まとめ】

夏休みに星空を見てもらう為に最初の週末に講座を企画した。親子で協力しながら星座早見盤を工作したが、夢中になり1時間があっという間だった。使い方を学ぶ為、プラネタリウムで自作した早見盤を使って練習を行った。事前に学校でも星座早見盤の授業があり、復習する事で理解が深まり良かった。



5 家庭教育事業

〔1〕 家庭教育学級

宇宙の学校

趣 旨： 宇宙や自然科学をテーマにした実験・工作・課題学習を行う事で、好奇心や冒険心を豊かに備えた創造的な子どもを育てることをねらいとし、また保護者に家庭教育に関する学習機会を提供することで、教育力の向上もねらいとしている。

期 間：令和4年7月24日（日）～11月13日（日）全5回

時 間：10:00～12:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館・壺屋小学校体育館

対 象：那覇市在住・在学の小学1年～3年生の親子

受講料：無料（但し保険料・材料費 1,500円は自己負担）

定 員：12組

申込人数：82組（うち受講決定人数12組24人）

参加延べ人数：108人（53組）

講 師：田端 研二（元牧志駅前ほしぞら公民館長）

小寺 克己（GODAC 国際海洋環境情報センター職員）

福里 美奈子（当館プラネタリウム操作技師）

宇久 淳子（宇宙教育リーダー）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	7月24日（日）	開講式・かさ袋ロケットを作って飛ばそう。	24人（12組）
2	8月28日（日）	沖縄の海について学びたい！	24人（12組）
3	9月25日（日）	ホバークラフトを作ろう。	18人（9組）
4	10月16日（日）	プラネタリウムで宇宙を知ろう・望遠鏡を作って月食観察の準備	18人（9組）
5	11月13日（日）	熱気球を飛ばそう・レポート発表・閉校式	24人（11組） ※きょうだい含む

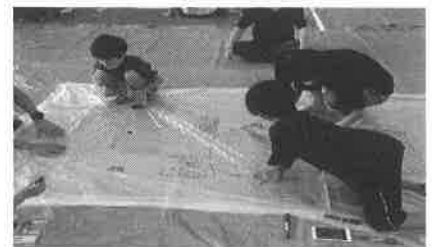
【参加者の声】

保護者・知的好奇心をかき立てられるとても素晴らしい教室でした。

・月食時期と重なり、大変充実した時間をすごせました。

児 童・ホバークラフトを作るのが楽しかったです。

・熱気球を高く飛ばせたことが楽しかった。



【まとめ】

最終日は、当館のホールがワクチン接種会場になっているため使えず、壺屋小体育館で行った。暑さで、熱気球が上がるか心配したが、3チームとも最終的に上がった。熱気球を飛ばした時の、子どもたちの歓声や笑顔から、達成感とともに、宇宙の学校のねらいである、好奇心、冒険心の芽生えを感じ取れた。親子で取り組んだ家庭学習のレポートの仕上がりも充実し、家庭教育学級のねらいは伝わったように感じる。しかし、説明が難しいとの感想もあり、改善が必要な点である。



自己肯定感をはぐくむ

趣 旨：日本人は諸外国に比べて自己肯定感が低いと言われる。その中でも沖縄の子どもたちは全国的な調査データから自己肯定感（自尊感情、自尊心）が低いことが分かっている。そして、それが不登校や学力不振に関係しているとされている。家庭はもちろん、学校や周りの声掛けや対応でできることは無いのか？を考え、学ぶ機会とする。

期 間：（対面）令和4年8月20日（土）～8月27日（土）各13：30～15：00
（配信）令和4年9月9日（金）～10月4日（火）

場 所：（対面）牧志駅前ほしぞら公民館 学習室 （配信）YouTubeにて限定配信

対 象：（対面）那覇市在住・在勤でテーマに興味のある人 （配信）制限なし

受 講 料：無料

申込人数：（対面）13人（うち受講決定人数13人） （配信）127人

参加延べ人数：（対面）20人 視聴回数：計637回

講 師：1 石川 キヨ子（社会福祉法人みどり福祉会 理事）

2 黒木 教子（一般社団法人 日本親子コーチング協会 理事）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	講 師	参加人数	視聴回数
1	8月20日（土）	ことばの持つちから	石川 キヨ子	10人	637回
2	8月27日（土）	自己肯定感を育む言葉かけ PEP TALK	黒木 教子	10人	

【参加者の声】

- ・お話を聴くことで、その方の人生から見えてきてスッと入ってくる。自分の人生にも活かさせていけたらいいなと思いました。
- ・ことばの大切さのお話をされる石川先生ご自身の言葉にとっても温かみと力があり、感銘を受けました。ありがとうございました！
- ・「コーチング」言葉は知っていたけれど、実際に講座を受けれて、とても良かったです。分かりやすい親しみのある内容でした。
- ・受容が大切だと改めて思いました。会場（対面）での講座で良かった。
- ・親として子供に対する否定的な言葉掛けを沢山してしまっていた事に改めて気付きました。と、同時に自分自身にも否定的でした。罪悪感だらけの子育てだったのでしんどかったのですね。今日のお二人の先生の講座で、まずは自分自身に優しく、今までよく頑張ったね！と言ってあげることができました。ありがとうございました。
- ・自己肯定感を高める具体的な方法を知ることができ、有意義な講座でした。できることから真似してみようと思います。また、家事・育児で、外出しゆっくりと講座に参加することが難しいため、今回のように自分の好きな時間ネットで講座を受けることができたのは、とてもありがたかったです。今後もこのような形の講座を開催してほしいと思います。ありがとうございました。

【まとめ】自己肯定感というテーマは沖縄県全体の課題で、子どもだけの問題ではなく親やオトナにも必要な学びだ。対面でじっくりと受講したい人もいれば、オンラインで気軽に受講したい人もいる。公民館講



座の多様性を感じることができた。2つのパターンで企画実施することは作業の手間はかかるが、受講の選択肢を広げ、学ぶ機会を多く提供できたのではないだろうか。

ガラスのハート～繊細な人 HSP～

趣 旨：5人に1人があてはまる性質「Highly Sensitive Person」は生きづらさを感じ、ストレスを溜める傾向にある。HSP・HSCが原因で社会環境に生きづらさを抱えるだけではなく、不登校や鬱などになってしまう人もいます。HSPの当事者が自分自身について理解することは大切であり、非HSPの人に周知することによって、トラブルを回避することもできる。HSPとは？を考え、学ぶ機会とする。

期 間：(対面) 令和5年11月5日(土)～12月3日(土) 各10:30～12:00

(配信) 令和5年12月15日(木)～1月30日(月)

場 所：(対面) 牧志駅前ほしぞら公民館 学習室 (配信) YouTubeにて限定配信

対 象：(対面) 那覇市在住・在勤の保護者およびテーマに興味のある人 (配信) 制限なし

受 講 料：無料

申込人数：(対面) 27人(うち受講決定人数20人) (配信) 94人

参加延べ人数：(対面) 45人

視聴回数：556回

講 師：仲真 美希 (HSP・HSCアドバイザー) 福原 飛鳥 (公認心理師 精神保健福祉士)

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	講 師	参加人数	視聴回数
1	11月5日(土)	HSP・HSCを理解する	仲真 美希	15人	556回
2	11月19日(土)	当事者の学び	仲真 美希	16人	
3	12月3日(土)	周りの学び	仲真 美希・福原 飛鳥	14人	

【参加者の声】

- ・自分も子どももHSP・HSCだと気づけたので、向き合い方が分かった。
- ・HSPという言葉を知りました。理解することができて本当に良かったと思います。
- ・子どもが2～3歳の頃からHSPの特徴を持っていたが一過性のものと軽く受けていたので、もっと早くHSC・HSPのことを知りたかったです。
- ・HSPで辛い時に受診を考えた時もありましたが、なかなか自分にあう病院を探す事ができずあきらめていました。今回の講座でいろいろ勉強になりました。
- ・HSPに限らず、対人関係におけるより良き関わり方を学ぶことができたと思います。また、どんな人でも、落ち込んだり、悩んだりすることがあるので、そうした時の考え方や対処法など、大変参考になりました。また、自分の周りに傷つきやすい人がいるかもしれないという気づきにもなりました。今後、今回の学びを生かせるよう、更に機会を見つけて学んでいけたらと思います。
- ・HSPについて受講する初めての講座です。特性やそこから感じる生きづらさ等を知ることができ、今後の生活に取り入れたいと思いました。
- ・講師のお二人には共感する事が多く、お話を聴くだけで安心したり励まされたり。これからも、講演会や活動を通して多くの方に元気を分けて頂きたいと思いました。是非お友達にも伝えます。ありがとうございました。また企画して頂いた担当者さん、これからも色々な企画楽しみにしています。よろしくお願い致します。



【まとめ】

HSPについては、この数年で認知度がたいぶ高くなってきたが、インターネットや本の情報が多く、対面の講話や質疑応答できる機会は少ない。特に那覇市における情報が貴重だったのではないだろうか。今後は緩く定期的に集まって情報交換を行う予定であり、当事者にとって有意義になると考えている。

「ひきこもり」について知っておきたいこと R4

趣 旨：ひきこもりの長期化・悪化を心配する市民や、8050問題に対して、行政だけではなく多方面から情報を提供することにより不安解消へと近づけていく。また、コロナ禍の休校によって不登校の増加も懸念されるため、不登校についても触れる。「ひきこもり」について知らない人にも決して無関係ではないことを考えてもらう機会とし、社会全体で取り組むべき課題であることを理解してもらう。同テーマで3年目となり。過去2年の動画もアーカイブで配信する。

期 間：(上映会) 令和4年12月9日(金)

(配信) 令和4年12月26日(月)～令和5年2月28日(火)まで

場 所：(上映会) 牧志駅前ほしぞら公民館 ・(配信) インターネットアプリ YouTube にて限定配信

対 象：那覇市在住または在勤で、ひきこもり・不登校当事者の家族およびテーマに関心のある人

受 講 料：無料

申込人数：上映会2人(うち受講決定人数2人) 配信：33人

参加延べ人数：2人 **視聴回数：**219回(うち今年度の動画視聴回数49回)

講 師：1. 宜壽次 大樹(いばとく) 2. 草野 智洋(琉球大学准教授)

3. 国頭 ゆきみ(沖縄県ひきこもり専門支援センター) 4～6. 松本 大進(sorae 統括)

7. 伊禮 嘉宜(沖縄県総合精神保健福祉センター)

★★ 学習プログラム ★★

動画 No.	年度	内 容	視聴回数
1	R4年度	ひきこもり経験者のお話	219回
2	R2年度	ひきこもらざるを得ない心を理解する	
3		沖縄県における ひきこもり支援について	
4	R3年度	進路が決まらない若者たち	
5		親支援について	
6		トラウマが与える影響	
7		当事者・家族に起こりうる二次障害について	
8		公民館から	

【参加者の声】

- ・元ひきこもり当事者の方が社会復帰するまでのお話などを聞いたことが一番良かったです。現在36歳で約10年ひきこもり生活を続けている弟にも、家族以外で心を開ける友達などがいればもう少し変わるのではと思うのですが、家族の提案にあまり乗り気でない態度を取ることが多いので、どう繋げていくかが課題だと感じています。
- ・第三者の視点も当事者の視点も知ることができて良かったです。相談窓口を探してみます。
- ・対処のしかたなど参考になった。
- ・できれば、グループワークなどディスカッションしたいです
- ・毎月定例で上映会があると、とてもありがたいです。市役所スタッフさんの負担にならないように、集まる場があると、とてもありがたいです。

#ひきこもり #不登校 #8050

「ひきこもり」について
知っておきたいこと R4

【まとめ】

同テーマで3年目になる。動画配信の利点で、受講者の都合で学び方に選択肢が広がる。しかし動画視聴できる環境が無い人もいるため、上映会を行った。今回、上映会に参加した人は他の人との交流も求めていた。コロナ禍も収束し、同じようなテーマで交流のある講座内容にしても良いのかもしれない。

〔２〕 乳幼児学級

にゅうじランド

趣 旨： 子育て真っ最中の保護者の心と身体のケアと、家庭での育児にすぐに取り入れられる役立ち情報の提供と仲間作り。

期 間：令和4年11月8日（火）～11月29日（火）

時 間：10:00～12:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 パソコン室・第4学習室・実習室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の6カ月～2歳未満の親子

受講料：無料（但し、保険料・材料費1,200円は自己負担）

定 員：12組

申込人数：18組（うち受講決定人数12組）

参加延べ人数：77人（39組）

講 師：①宮國 友美（沖縄県立看護大学講師・助産師） ②又吉 るみ子（絵本未来機構理事）
③中田 太美子（リンクライフ（株）代表取締役） ④長嶺 由香（国際中医薬膳師・管理栄養士）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	11月 8日（火）	親子リラックス体操・育児相談・支援センターの紹介	18人（9組）
2	11月15日（火）	絵本の読み聞かせの効用とおすすめ絵本、読み聞かせ実践練習	20人（10組）
3	11月22日（火）	アングーマネジメント：怒りとは・メカニズム・コントロール	19人（10組）
4	11月29日（火）	ママのためのハッピー薬膳料理（調理実習）	20人（10組）

【参加者の声】

- ・とても相談しやすい環境で、先生も優しく良かったです。
- ・子どもの脳の発達の特徴にあった読み方であることが分かって納得。目からうろこでした。
- ・怒りのコントロールの仕方が具体的で分かりやすかった。気持ちが軽くなりました。
- ・他のお母さん達とコミュニケーションを取りながら出来てとても楽しかった。薬膳に興味が出た。
- ・受講しないと分からない事をたくさん知る事ができて、良かったです。託児付きでリフレッシュできた。
- ・託児サービスも安心で、子どもも他の子や先生方と関わるきっかけになり良かったです。
- ・育休復帰後も参加したいので土日開催も企画して欲しい。

【まとめ】

保護者の学びと自身をいたわり、見つめる時間と仲間作りが出来るよう企画した。1回目からどの講師も、受講生に寄り添い、受講生同士の交流を意識しながら講座を進めてくださった。

最終回の調理実習で、受講生同士一気に距離が縮まったように感じる。一緒に作業を進めるとコミュニケーションも取りやすく親近感も沸くようで、連絡先の交換をしている姿も見受けられた。



4 その他の事業

〔1〕 プラネタリウム事業

久茂地公民館の前身である沖縄少年会館から引き継いだプラネタリウムは、45年間もの間、青少年に科学の夢を与え続けてきた。しかし建物の老朽化により牧志駅前ほしぞら公民館に機能移転し、プラネタリウムも最新型のハイブリッド式へと生まれ変わった。

新機種の導入により、地球上での星空だけでなく、地球を飛び出し宇宙空間を移動することも可能で、過去や未来の星空など、時間軸の移動も容易となった。また、各地の風景を投影するなど、より臨場感あふれる演出となり、幼児から大人までを対象に、宇宙への好奇心を育んでもらう役割を引き継いでいる。

平成25年度より、一括交付金を活用して製作したオリジナル番組を投影している。

- 【観覧料】 (一般料金) 大人200円、高校生150円、小中学生100円
(団体料金) 大人160円、高校生120円、小中学生 80円
※那覇市内小中学生無料、未就学児全般無料、那覇市内65歳以上は100円
- 【所要時間】 約45分～50分(幼児番組は約40分)(学習投影は内容により1時間30分まで可能)
- 【定員】 1回の投影で84名まで。
- 【休演日】 月・火曜日、祝祭日・年末年始・慰霊の日(6/23)・機械点検日、番組調整・講座等使用日
- 【受付】 ≪一般投影≫ 観覧当日、投影1時間前に観覧料を購入
≪団体投影≫ 10名以上の団体で、観覧一週間以上前に申請し許可を受ける。
市内所在団体は4月から、市外所在団体は5月から受付開始。
- 【プラネタリウム投影の内容】 ※①～⑥と、10分～25分程季節の星空解説を合わせて行う。

- ①幼児対象番組 「月にはだれがすんでいるの?」「かめっちとぺんた」
「おーい!アカナー!夜空を見上げよう」
- ②高学年対象番組 「宇宙船さいおん号で出発」「GO!メガシーサー!宇宙への夢、無限大」
「宇宙と島の大冒険 GO!メガシーサー!」
- ③一般向け対象番組 「美ら島・星の旅」「月と星・島々の歳時記」「チムグクルをとりもどせ!」
「みんな生きている。宇宙・星・島々…」
- ④うちなーぐち番組 「美ら島・星の旅」「残したい言葉・伝えたい想い」
- ⑤小・中・高校生対象の学習投影 「学習番組」「時空を超えて～夜空の見方を大転換～(夏)、(冬)」
- ⑥宇宙の最新情報、天文現象の解説

☆通常期(繁忙期以外)

	10:00	14:00	18:30		13:30	15:00	16:30
水	団体	団体		土	一般	一般	一般
木	団体	団体		日	一般	一般	
金	団体	団体	一般				

☆繁忙期(7月、那覇市立小学校の夏・秋・冬・春休みの期間)

	10:00	11:00	14:00	15:30	18:30
水	団体	団体	団体	一般	
木	団体	団体	団体	一般	
金	団体	団体	団体	一般	一般

	11:00	13:30	15:00	16:30
土	団体	一般	一般	一般
日		一般	一般	



〔2〕プラネタリウムにおける新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み

1 「三つの密」を避けるための対策

- (1) 1日の投影回数を減らし、興行場法に基づいた空調設備を稼働させ、投影と投影の間には扉を開け外気を取り入れての適切な換気を実施
- (2) 人と人の距離を1～2m程度開けて座る場所を指定
そのため、団体投影、一般投影それぞれ52人程度に制限
- (3) 多数の方が密集することがないよう団体投影は1投影につき1団体、一般投影は事前予約制

2 利用者の安全確保について

- (1) 入館前の健康チェックの実施
- (2) 利用前後の手指消毒
- (3) マスクの着用
- (4) 並ぶ際の前後2mの間隔の確保
- (5) ドーム内での会話を控える
- (6) 座席、手すり、肘掛けなど直接触れる機会の多い箇所の定期的な除菌・消毒の実施
- (7) スタッフ全員のマスク着用および勤務前の検温と手指消毒の徹底

3 令和4年度投影スケジュールの変更について

以下のスケジュールで投影を実施

	10:00	14:00	18:30
水	団体	団体	
木	団体	団体	
金	団体	団体	一般

	13:30	15:00	16:30
土	一般	一般	中止
日	一般	一般	

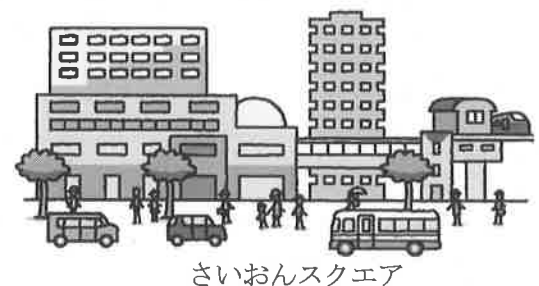
※1投影に対し、団体は1団体のみ52人程度、一般も52人程度に制限あり

※一般投影をご覧いただくには事前の予約が必要

4 投影中止期間

(1) メンテナンスに伴う中止期間

- ① 令和4年6月19日から6月22日まで（定期メンテナンス）
- ② 令和4年12月4日から12月7日まで（定期メンテナンス）



プラネタリウム たなばた投影

趣 旨：たくさんの人が星空を見上げる七夕の時期に、星空や宇宙に興味を持ち、プラネタリウムに多くの市民が親しむ機会とする。

期 日：令和4年7月9日（土）・10日（日）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：どなたでも（未就学児は保護者同伴）

観 覧 料：大人200円、高校生150円、小中学生100円（市内在住・在勤・在学の人無料）

定 員：210人（各回42人）

申 込 人 数：7月9日（土）126人（うち受講決定人数126人）

7月10日（日）84人（うち受講決定人数84人）

参加延べ人数：193人

★★ 学習プログラム ★★

7月9日（土）

回数	時 間	投 影 内 容	参加人数
1	13:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	39人
2	15:00	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	34人
3	16:30	幼児・小学校低学年向け 「おいアカナー！夜空をみあげよう」	40人

7月10日（日）

回数	時 間	投 影 内 容	参加人数
1	13:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	42人
2	15:00	幼児・小学校低学年向け 「おいアカナー！夜空をみあげよう」	38人

【まとめ】

コロナ禍始まって以来のたなばた投影。受付開始後すぐに定員に達した。感染症対策の為、84席中42席で案内した。事前予約制にした事で、当日窓口が混雑する事無くスムーズに受付案内ができた。参加者の多くは、なほ市民の友を見て初めて参加した方が多かったので、リピーターに繋がると嬉しい。



星と音楽のコラボ 復帰50周年記念投影 「あの日の星空 あの日の歌声」

趣 旨：復帰50周年を迎え、復帰時流行した音楽を聞きながら、当時の映像や星空を楽しむことでプラネタリウムに親しんでもらう。

期 日：令和4年6月4日（土）
 時 間：（1回目）16:00～16:50
 （2回目）17:30～18:20

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム
 対 象：那覇市在住・在勤・在学の小学生以上の人
 （小学生は保護者同伴）

観 覧 料：無料

定 員：84人（各回42人）

申 込 人 数：1回目55人（うち受講決定人数42人）
 2回目46人（うち受講決定人数42人）

参加延べ人数：89人

出 演 者：池村 秀一、池村 真弓（Rosewood）



★★ 学習プログラム ★★

回数	時 間	内 容	参加人数
1	16:00～16:50	復帰の年である1972年頃の沖縄の懐かしい風景写真や、本土復帰の日の星空を眺めながら当時流行した音楽を聞き沖縄の歩みを振り返る。	45人
2	17:30～18:20		44人

【参加者の声】

- ・すてきな時間をありがとう。映像に引き込まれそうでよかったです。
- ・星空と歌声がマッチしていてとても良かったです。
- ・初めて参加して少年会館時代を思い出しく思います。
- ・毎日、梅雨空で鬱陶しい日が続いていますが、美しい星空を見てすてきなハーモニーを聞かせてもらいハッピーな気分になりました。

【まとめ】

新型コロナの影響で3年ぶりのコラボとなった。出演者の歌声が星空に良く合う美しい声で観覧者に満足してもらえた。



星と音楽のコラボ「星もきらめく四重奏」

趣 旨：1年の締めくくりに、季節に合った音楽を聴きながら満天の星を楽しんでもらう。
コンサートやライブではなく星空とのコラボレーション投影を行うことで、
プラネタリウムに親しむ機会とする。

期 日：令和4年12月11日（日）

時 間：【1回目】16：00～16：50 【2回目】17：30～18：20

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：那覇市在住・在勤・在学の小学生以上の人（小学生は保護者同伴）

観 覧 料：無料

定 員：90人（各回45人）

申 込 人 数：【1回目】83人（うち受講決定人数45人）

【2回目】91人（うち受講決定人数45人）

参加延べ人数：97人（1回目：観覧者45人・招待客3人 2回目：観覧者45人・招待客4人）

演 奏 者：琉球交響楽団

バイオリンⅠ 富里 桃子、バイオリンⅡ 大城 聖美、ヴィオラ 筒井 萌、チェロ 具志堅 真紀

★★ 学習プログラム ★★

回数	時 間	内 容	参加人数
1	16：00～16：50	プラネタリウムの星や映像を眺めながら、弦楽四重奏を生演奏で味わう。	48人
2	17：30～18：20		49人

【参加者の声】

- ・ダイナミックな映像と四重奏で涙がポロポロと出てきました。とても素敵な時間をありがとうございました！！
- ・とても、とても良かったです。生のオーケストラの演奏とダイナミックな投影は最高でした。小学生の息子も知っている音楽でとても喜んでいました。無料でこのような機会を本当に有り難うございました。花火や世界各地の風景もプラネタリウムでは新鮮で良かったです。

【まとめ】

感染予防の為人数を制限した。その為、音響を使わなくてもドームに響き渡って素晴らしかった。レーザープロジェクターを活かして宇宙や世界旅行を表現した。迫力があって感動したと観覧者より感想をもらった。



星空観望会

趣 旨：天体望遠鏡を使い惑星や月を観察し、四季それぞれの星座は肉眼で観察を行うことにより、宇宙や自然科学への関心を高め、市民の知的好奇心に応える。

期 間：令和4年4月1日～令和5年3月31日（全6回）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館、新都心公園、プラネタリウム、公民館ロビー

対 象：公民館来館者及び通行人（観光客含む） 小学生と保護者

受 講 料：無料

定 員：なし

参加延べ人数：約700人

講 師：田端 研二（元牧志駅前ほしぞら公民館館長）、
福里 美奈子、玉城 奈々（当館プラネタリウム操作技師）

★★ 学習プログラム ★★

開催日	観望会名	内容	場所	参加人数
7月9日（土）	七夕観望会	月・七夕の星	公民館外廊下	32人
7月30日（土） 8月20日（土）	夏の天体観望会	土星・夏の大三角	公民館外廊下 プラネタリウム・ロビー	46人
10月21日（金）	星空の魅力発見 玉城で星空観察	雨天のため中止	玉城青少年の家 共催：玉城青少年の家	—
11月8日（火）	皆既月食観望会	月食・木星土星・天王星食	新都心公園	約600人
12月16日（金）	市民天体観望会	曇天のためプラネタ投影のみ観覧	プラネタリウム・ロビー	26人

【参加者の声】

- ・普段見ている星の名前がわかって楽しかった。
- ・楽しかった。そして月がへこんでいて、勉強ができたからよかった。
- ・望遠鏡で見たらでこぼこしているのがわかった。
- ・プラネタリウムをもっと見たいと思った。自分の星座を探したい。

【まとめ】

新型コロナ感染予防のために、公民館外廊下で人数制限を行って開催した。人数制限を行うことで、事前にプラネタリウムで星の解説を行うことができた。天候不良時で外では星が見えなくても、プラネタリウムで星を見てもらい、その後に公民館ロビーにて望遠鏡を用いて写真の惑星や星団などの見え方を体験してもらうことができた。

月食観望会は新都心公園にて人数制限をかけることなく、多くの市民に解説を交えながら皆既月食・天王星食を見てもらうことができた。開始前までは曇天だったが、月食開始の時間になると徐々に天候も回復して肉眼や望遠鏡での月の観察の他、見頃を迎えた木星・土星の観察も楽しんでもらえた。



全国一斉 熟睡プラ寝たリウム

趣 旨：兵庫県明石市立天文科学館の呼びかけで行われている『熟睡プラ寝たリウム』は全国的にも人気が高く、当館でも毎年行って欲しいとの声があがる。コロナ禍で疲弊した市民に癒しと安らぎを感じてもらい、プラネタリウムに親しんでもらうきっかけとしたい。

期 日：令和4年11月19日（土）・20日（日）

時 間：15：00～15：45

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

観 覧 料：市内在住・在勤・在学者は無料
市外（大人200円・小中学生100円）

定 員：各回52人

申 込 人 数：19日（土）55人（うち受講決定人数52人）

20日（日）46人（うち受講決定人数46人）

参加延べ人数：74人

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	11月19日（土）	南半球ニュージーランドの星空を眺めながらアルゴ座の物語の紹介。リラックスできるように開始前に簡単なストレッチを入れた。	43人
2	11月20日（日）	星を日周させながらストーリー仕立てに仕上げた。四季の星空の魅力を幻想的に投影した。	31人

【参加者の声】

- ・満天の星ありがとう。疲れが吹っ飛びました。
- ・あっという間に眠れました。終わりは本当に朝を迎えたような明かりで驚きました。
- ・もう少し時間を長くしても良いと思います。心地よく良かったです。

【まとめ】

通常の投影では行わない面白い内容になった。体の緊張をほぐす運動を取り入れたり、物語仕立てで四季の星座を案内したりと眠くなる工夫も好評だった。優先席の椅子の音が大きく次回からは使用しないか、子どもは座らせないように工夫したい。



金星食Live配信 ～細い月とかくれる金星～

趣 旨：細い月と金星はおもしろさうしでは「神ぎや金真弓（かなまゆみ）神ぎや金細矢（かなまき）と謡われるほど美しい風景である。さらに今回は、細い月の地球照に金星が隠れる金星食を当日見ることができる。この現象は沖縄と九州の一部のみでしか見ることができず、その美しい様子を全国に発信する。

期 日：令和5年3月24日（金）（ライブ配信）

時 間：19:00～21:10頃（再生時間）約20分

場 所：【観察場所】小禄南公民館

（ライブ配信）YouTube 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム・操作技師チャンネル

対 象：動画視聴が可能な人

受 講 料：無料

定 員：なし

視 聴 回 数：236回

★★ 学習プログラム ★★

- ・月の後ろにかくれていく金星（金星食）の様子をライブ配信にて観察する。

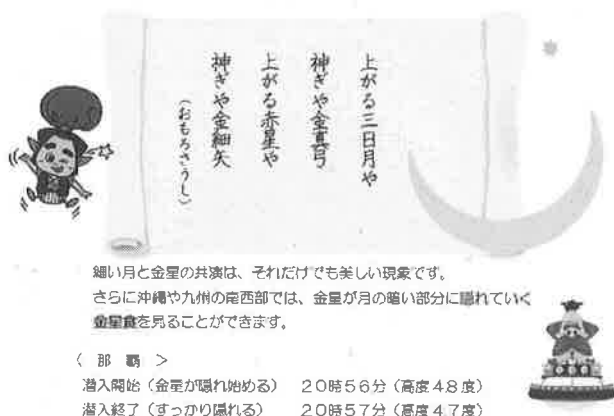
【まとめ】

今回はライブ配信用の機材が足りずに諦めていたが、前公民館長の田端氏から借用することができたので急遽配信が決まった。地上から5度以下の高度だったので当公民館では観察するのが難しく、西の水平線まで見渡せる小禄南公民館屋上での配信となった。日の入りの頃には細く美しい三日月と金星が見えたが、食の時間帯には曇天となりまったく見えなくなってしまった。天文現象のライブ配信は天候に左右されてしまうが、これからも那覇の空から見える星空を全国に発信し、那覇からでも星空を楽しむことができることを知って欲しい。

令和5年3月24日

金星食Live配信

～細い月とかくれる金星～



上がる三日月や
神ぎや金真弓
上がる赤星や
神ぎや金細矢
（おもしろさうし）

細い月と金星の共演は、それだけでも美しい現象です。
さらに沖縄や九州の南西部では、金星が月の暗い部分に隠れていく金星食を見ることができます。

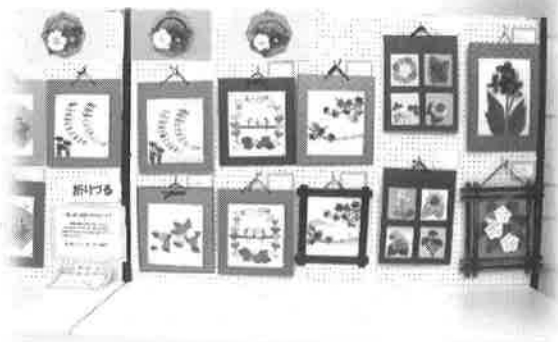
< 部 覇 >
潜入開始（金星が隠れ始める） 20時56分（高度4.8度）
潜入終了（すっかり隠れる） 20時57分（高度4.7度）



7 公民館まつり

公民館まつり風景

☆ 作品展示の部 ☆



☆ 舞台の部 ☆



☆ プラネタリウム ☆



☆ 社交ダンスパーティー ☆



第10回

牧志駅前ほしぞら公民館まつり

入場無料

牧志駅前ほしぞら公民館では、大人から子どもまで、さまざまな団体・サークルの皆さまが活動しています。この機会にぜひ、公民館に足を運んでみてください！

18日 26日

期間：2月18日(土)～2月26日(日)※最終日は17時まで

【出演団体】

月雪会、西の会(花南かな書道)、水色の会、水彩画サークル、星空折り紙サークル、折り紙、押し花サークル、トコ・フルール、おれびみみ句会、サクラ

18日

全12団体
2月18日(土) 12:00～15:15
場所：ホール

合唱 ○ギター
吹奏 ○民謡
オカリナ

26日

全18団体
2月26日(日) 12:00～17:15
場所：ホール

大正琴 ○ハワイアンブラ ○合唱
○民謡 ○民謡 ○手話 ○三線
○ハーモニカ ○太鼓 ○サックス

18日

パソコンでお絵かき(あした葉会)
日時：2月18日(土) 12:00～16:30
場所：第3学習室

26日

図書体験
(ほしぞら子ども一書会、をば一書会)
日時：2月26日(日) 12:00～16:30
場所：第3学習室

18日

図書体験&ラネタリウム
星のキラキラおはなし会

公民館まつりだけのスペシャルコラボ！
いつもとは違う特別なラネタリウムをお楽しみください。

上映時間 ①13:30～ ②15:00～ 各回45分
定員：52人(予約先着順)
場所：プラネタリウム

※お申し込み・詳細はチラシまたはHPをご覧ください。

※本館の周りはマスクの着用にご協力をお願いします。
※感染症の感染状況がある方は来場をご遠慮ください。
※感染状況により内容の変更または中止となる場合がございます。予めご了承ください。

主催：牧志駅前ほしぞら公民館まつり実行委員会
お問合せ：牧志駅前ほしぞら公民館 TEL 917-3443

18日

第10回牧志駅前ほしぞら公民館まつり 舞台発表プログラム

場所：ホール

内容	出演団体名	開始時間
合唱	牧志駅前ほしぞら公民館まつり実行委員会 委員長	12:00
合唱	アンサンブル・コッカー	12:15
合唱	女声合唱団 朝陽コーラス	12:30
合唱	女声合唱団 ローズ	12:45
詩吟	光世流 華吟会	13:00
詩吟	吟和会	13:15
ギター	ギターでうたごえinほしぞら	13:30
朗読	朗読を楽しむ会	13:45
民謡	八重山民謡	14:00
民謡	那覇婦連民謡研究会(月陽会)	14:15
民謡	はいびすかすの会	14:30
オカリナ	オカリナサークル「ポコ・ア・ポコ」	14:45
詩吟	牧志吟詠会	15:00
合唱		15:15

26日

内容	出演団体名	開始時間
合唱	響きの会	12:00
大正琴	花音流大正琴 すみれ	12:15
大正琴	沖繩琴正会、大正琴 すずらん	12:30
あいさつ	牧志駅前ほしぞら公民館 館長	12:45
ハワイアンフラ	ハワイアンフラ アリコ	13:00
合唱	グルッポ・カサブランカ	13:15
合唱	那覇少年少女合唱団	13:30
合唱	新婦人の会 那覇支部 シーサー班 コーラスサークル	13:45
合唱	ドナウ女声合唱団	14:00
合唱	休 隔 ～14:45まで	14:15
ハワイアンフラ	ハワイアンフラ ロケラニ	14:45
民謡	民謡新サークル	15:00
合唱	女声合唱団「星砂」	15:15
民謡	かりかひ沖繩民謡クラブ	15:30
手話	手話ストレッチダンス ひまわり	15:45
ハワイアンフラ	ハワイアンフラ アロハフラワイ	16:00
ハーモニカ	ほしぞらハーモニカサークル	16:15
太鼓	沖縄太鼓研究会	16:30
三線	久茂地三線サークル	16:45
サックス	サックス同好会	17:00
合唱		17:15

※コロナ禍における開催のため、観覧者の数を制限し、感染予防策を徹底したうえでの実施となります。
※マスク着用、消毒、検温にご協力願います。検温によって通過の場合ご入場をお断りする場合があります。
※プログラムに変更がある場合もあります。ご了承ください。

ほしぞら公民館まつり特別企画「星のキラキラおはなし会」

趣 旨：ほしぞら公民館まつりの特別企画として、初めてほしぞら図書館と協働で実施する。
月や星にまつわる絵本を朗読しながら、月や星に興味を持ってもらう。

期 日：令和5年2月18日（土）

時 間：（1回目）13：30～14：15 （2回目）15：00～15：45

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：どなたでも（未就学児は保護者同伴）

観 覧 料：無料

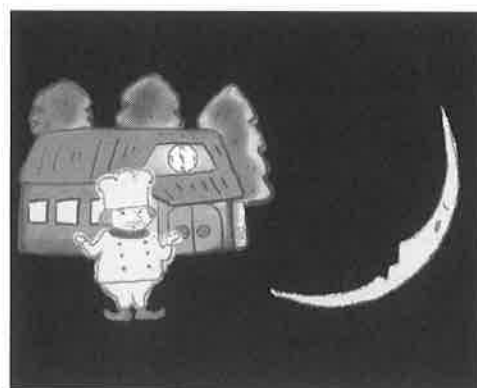
定 員：104人（各回52人）

申込人数：1回目54人（うち受講決定人数54人）

2回目55人（うち受講決定人数55人）

参加延べ人数：98人（1回目47人 2回目51人）

朗 読：長堂 好美（牧志駅前ほしぞら図書館職員）



★★ 学習プログラム ★★

回数	時 間	内 容	参加人数
1	13：30～14：15	(絵本のタイトル) ・くいしんぼうのおつきさま ・天にのぼったわかもの	47人
2	15：00～15：45	・さわってごらん夜のほし ・星空解説	51人

【参加者の声】

保護者・久しぶりにプラネタリウムを鑑賞しましたが、とても癒されました。星座の説明も分かりやすく、お話と合わせて見れる星座もあり、自分でも星空を見てみようと思いました。

・本と一緒に星にも興味をもつキッカケになるので良かったです。

児 童・ちょうど星の学習をしていたので、知っている部分もあったけど、知らないこともいっぱいあって知れて良かったです。

・たくさんの話が聞けたし、たくさんの星座を見れておもしろかった。

【まとめ】

図書館との初めての協働企画だったが、ドームの特性を活かしての絵本の朗読は、観覧者が手を動かしてとても楽しそうだった。お話が多いので幼児の集中力が心配だったが、みんな夢中になってお話を聞いてくれた。

